

令和5年度 杉並区立高南中学校 学校経営計画

杉並区立高南中学校

校長 立花 忠司

<杉並区教育ビジョン2022>

私たちが大切にしたい教育 みんなのしあわせを創る杉並の教育

<教育目標>

◎すすんで学ぶ人 ・思いやりのある人 ・たくましい人

<目指す学校像>

- ・再チャレンジの機会を保障し、一人ひとりの生徒が自らのよさを発揮し、活躍できる学校
- ・地域・保護者と相互理解を行い、積極的に協力・協働することで、地域から信頼される学校
- ・生徒、教職員がともに人権感覚を磨き、自信と誇りをもってともに成長する学校

<目指す生徒像> 知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成

(1) 可能性に挑戦する生徒の育成

学校のあらゆる教育活動を通して、夢や目標をもち、その実現に向けて、自ら考えて、自らの可能性に果敢に挑戦しようとする生徒を育成する。失敗を認め、互いに高め合うことができる生徒を育成する。

(2) 生きる力をもつ生徒の育成

答えのない問題に対して、その問題をどのように解決していくかを考えることができる生徒を育成する。また、問題の最適解を見つけ、解決するために行動できる生徒を育成する。

(3) 思いやりの心とたくましい心身をもつ生徒の育成

学校の教育活動全体で行う道德教育や体験活動などを通して、よりよく生きるための基盤となる道德的判断力、道德的信条、道德的实践意欲と態度をもつ生徒を育成する。社会性を身に付けさせるとともに、不断の努力で、自らの心身を鍛え、たくましく生きる生徒を育成する。

<今年度の具体的な取組>

(1) 確かな学力の定着と向上

基礎的・基本的な学力の確実な定着と、探究する力を育成する。各教科において、主体的・対話的で深い学びを実現するための指導を行う。特に各教科で、記述することの指導に力を入れるとともに、多様な言語活動を取り入れることで、思考力・判断力・表現力を育成する。

(2) 教科横断的な学びの推進

総合的な学習の時間における学習を核として、各教科の学習内容を関連付けるなど、教科横断的な学習を推進する。これらの学習によって、探究する力や課題を解決する力、主体的に行動する力を身に付けさせる。

(3) 小中一貫教育の推進

杉並第三小学校、杉並第十小学校との一貫教育を行う。学びの構造転換や、学びの連続性・系統性を踏まえた教育を推進する。合同研修会等を通して、教職員のつながりをつくとともに、連携して教育活動に取り組む。小学生の授業体験や部活動体験、学校行事や地域行事への参加など、小学校と交流する機会を設ける。

(4) 地域・家庭との協働による教育活動の推進

学校運営協議会、学校支援本部、青少年委員や保護者等と連携した地域行事、社会貢献活動等を通して、生徒が学校や地域における自己の役割と責任を自覚し、地域社会に貢献しようとする態度を育成する。

(5) ICT の利活用

すべての教育活動において、生徒の1人1台タブレット端末の効果的な活用を行い、個別最適な学びの充実を図る。校務でのICTの利活用を一層推進し、効率的・効果的な職務の遂行を行う。

(6) 特別支援教育

支援が必要な生徒について、一人ひとりの教育的ニーズを把握するとともに、校内委員会を中心とした全教職員による共通理解と組織的な取組を行うことで、生徒の能力を引き出し、伸ばすように支援する。

(7) 教育相談

いじめ等の問題行動や虐待、不登校生徒への対応について、一人ひとりの心理的・家庭的な要因から生徒の理解を深めるとともに、未然防止や早期対応を組織的に行えるように、教育相談機能を充実させる。

(8) 東京オリンピック・パラリンピック2020レガシー

東京オリンピック・パラリンピック2020のレガシーとして、国際社会の多様な文化を理解し、共生しようとする態度を養うとともに、日本人としての自覚と誇りの涵養に努める。スポーツに興味をもち、自らの体力向上に努める態度を養う。ボランティア・マインドの醸成とボランティアの機会を設ける。

(9) 学習環境の整備

ユニバーサルデザインの考え方に基づいた学習者主体の学習環境の整備を推進する。

<目指す教職員> 「チーム高南」 同じ方向を向いて、協力して職務を遂行する組織

- (1) 可能性に挑戦する教職員
- (2) 人権意識をもち、相手への敬意をもって接する教職員
- (3) 子どもの声に寄り添い、共感する教職員
- (4) 授業を大切にする教職員（プロとしての自負心と授業力向上を図る自己研鑽への意欲）
- (5) 人間味あふれ、一人ひとりの生徒と良好な人間関係をつくる教職員
- (6) あらゆることに気づき、行動できる教職員（アンテナの感度を高く）
- (7) 公務員として、全体の奉仕者であるという自覚をもった教職員